



News Release

2019年1月31日

国立大学法人京都大学

バイエル薬品株式会社

バイエルと京都大学が肺疾患の新薬開発のために研究提携を締結

ドイツ国・バイエル社(以下、「バイエル」という。)と国立大学法人京都大学(以下、「京都大学」という。)は呼吸器疾患の特発性肺線維症 (Idiopathic Pulmonary Fibrosis: 以下「IPF」という。)の新しい創薬標的を特定するための戦略的研究提携を行うことに合意しました。

IPFとは生命を脅かす慢性疾患で、時間の経過とともに肺の組織が厚く硬くなり、しだいに肺機能が低下する進行性の病気です。肺の線維化につながる要因はこれまでも示されていますが、IPFの直接的な病因は不明です。今回の研究提携の目的は、疾患につながるメカニズムを解明し、創薬標的を特定することです。

「外部のイノベーションアプローチを通じて自社研究を補完するという戦略に則り、私達は肺疾患に苦しむ患者さんのために呼吸器領域において京都大学と共同し、新しい治療オプションを研究していきます。IPFはアンメットメディカルニーズの高い疾患のひとつです。京都大学との提携によって新しい創薬標的を特定することができれば、患者さんにとって大きな希望を生み出すことができるでしょう。」とバイエル社医療用医薬品部門の経営委員会メンバーのヨルグ・メラ博士は述べています。

今回の提携は京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学の佐藤篤靖助教が京都大学で発見し得た専門知識、特にIPFの病因における上皮細胞の役割をベースとし、バイエルの創薬および開発の専門知識を組み合わせ共同開発していきます。京都大学とバイエルは新しい治療オプションを特定する仮説を共同で設定し、その仮説を検証するために人材、インフラ、独自のテクノロジーを双方に提供します。

バイエルと京都大学は新しい創薬標的の特定のための共同研究活動を提携合意のもとで行います。バイエルは提携の成果の独占的使用の選択権を所有します。契約の金銭的条件については非開示です。

「呼吸器科と胸部外科で確立された革新的なアプローチを通じて肺疾患の新しい治療法の発見に注力していきます。バイエルと緊密に連携し、複数の共同プロジェクトを実行できることをとても喜ばしく思っています。バイエルと京都大学の専門知識を組み合わせることで IPF を含む難治性肺疾患の理解を深め、新しい治療法を探索していきます。」と京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学の平井豊博教授は述べています。

京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構 (KUMBL) のサポートにより提携成立に至った今回の呼吸器領域における研究提携は、2014 年に締結した京都大学産官学連携本部 (KU-SACI) と学際横断的に共同研究候補主題を探索する為の包括提携契約の成果です。

特発性肺線維症 (Idiopathic Pulmonary Fibrosis) について

特発性肺線維症は全世界で約 500 万人が患っている慢性肺疾患です。肺組織の癒痕化が進行することで、肺機能が低下して行きます。その癒痕組織の形成を繊維化と呼びます。肺の組織が厚くなるにつれて、肺から血流へのガス交換の効率が低下して行きます。その結果、脳やその他の臓器への酸素の供給が不足します。肺の線維化につながる要因はこれまでも示されていますが、直接的な病因は不明です。そのため特発性肺線維症と呼ばれています。特発性肺線維症の急性増悪とは数日あるいは数週間です。急性増悪のリスクを減らすことが特発性肺線維症のすべての患者さんに対する重要な治療目標です。

京都大学について

京都大学は 1897 年に日本で二校目の帝国大学として創立されました。「創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献する」という基本理念を反映した強い目的意識を発展させることに注力してきました。日本の最先端の研究機関の一つである京都大学の研究者の研究成果は世界中で認められています。2012 年に iPS 細胞研究所の山中伸弥博士が幹細胞研究分野における独自の発見によって、2018 年に免疫ゲノム医学部教授の本庶佑博士が PD-L1 を標的としたがん免疫療法の発見によってノーベル生理学・医学賞を受賞したことは記憶に新しい功績です。

京都大学ウェブサイト：<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は 350 億ユーロ、従業員数は 99,800 名(2017 年)。設備投資額は 24 億ユーロ、研究開発費は 45 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。